

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市農林産物品評会													
所管課	142	農林課	(農林商工部)													
事業の目的	農林産物の生産性及び品質の向上により、農林産物生産者の営農意欲の増進を図る。 また、幅広く消費者に宇陀の農林産物を販売し、新鮮・安心・安全性を啓発することで、地域農林業の発展を図る。				宇陀市一般会計予算											
					区分	No.	区分名									
					款	5	農林水産業費									
					項	1	農業費									
					目	3	農業振興費									
細目	1	農業振興費														
根拠条例等	宇陀市農林産物品評会開催要領															
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化															
H28年度事業の概要	農林産物の生産者より、市内で生産された農林産物を出品いただき、品評会および即売会を実施する。また、出品された農林産物については、審査をおこない、優秀な農林産物の生産者に対し、表彰をおこなう。 事業費内訳 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>報償費</td> <td>228,750円(参加賞、副賞等)</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>50,000円(消耗品等)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>28,400円(郵送料)</td> </tr> <tr> <td>会場設営委託料</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>607,150円</td> </tr> </table>				報償費	228,750円(参加賞、副賞等)	需用費	50,000円(消耗品等)	役務費	28,400円(郵送料)	会場設営委託料	300,000円	合計	607,150円	財源の内訳 (単位:千円)	
					報償費	228,750円(参加賞、副賞等)										
需用費	50,000円(消耗品等)															
役務費	28,400円(郵送料)															
会場設営委託料	300,000円															
合計	607,150円															
分担金																
使用料																
国費																
県費																
市債																
その他																
一般財源	608															
H28予算額	608															
H27当初予算額	565															
H27現計予算額	565															
増減額	43															
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 農林産物品評会を通して、農林産物生産者のより一層の営農意欲と生産性及び品質の向上を図り、消費者に地元の農林産物のPRをおこなう。															
	成果 平成26年度は、10月25日・26日に、宇陀市総合体育館(うた産フェスタ会場)にて開催し、市内農林家が生産した農林産物の啓発(新鮮・安全・安心)を図ることができた。 出品数 121点 即売会収益 32,950円(善意銀行へ預託)															
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)													
決算額又は決算見込額(千円)		207	265													
従事職員数【人工】		0.10	0.10													
人件費(人工×8,000千円)		800	800													
総事業費:人件費含む(千円)		1,007	1,065													
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																
活動指標名		出品数														
活動指標の算式		-														
活動指標の実績(見込)		121	単位	点	130											
単位当たりコスト (円)		8,322		8,192												
備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (3)農林産物品評会の開催														

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市暗渠排水設置事業補助金					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	農地の適正な機能を発揮させ、農作物の安定した生産を推進することから、土壌水分の管理性向上のための暗渠排水施設に投じる費用の一部を補助する。				区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	3	農業振興費	
細目	1	農業振興費						
根拠条例等	宇陀市暗渠排水設置事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H28年度事業の概要	暗渠排水事業補助金 1m当たり300円以内 事業予定量 1,500m × 300円 = 450,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
	目標 土壌水分等による条件不利農地の整備により農業機械の導入など効率化が図られ、生産性の向上と耕作放棄地の減少につなげる。 成果 平成25年度 5件 1,084.0m 314,386円 平成26年度 2件 126.0m 37,800円				分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他	450		
					一般財源			
					H28予算額	450		
					H27当初予算額	450		
				H27現計予算額	450			
				増減額				
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			38	155		宇陀市農業支援基金繰入金 450千円		
従事職員数【人工】			0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800	800				
総事業費:人件費含む(千円)			838	955				
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名			整備延長					
活動指標の算式			-					
活動指標の実績(見込)			126	単位	m	517	単位	m
単位当たりコスト(円)			6,651		1,847			
			備考					
			<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (5)宇陀市農業支援基金事業					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市新設雨除けハウス設置事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市の特産としているハウレンソウなど、需要の高い夏季において降雨による生産障害を防ぎ周年栽培による生産振興を促すため、雨除けハウス設置に係る経費の一部を補助する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市新設雨除けハウス設置事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	ハウス施設設置事業補助金 1㎡当たり500円以内 事業実施予定量 2,000㎡×500円=1,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	目標 冷涼な夏季の気象条件に適した高品質のハウレンソウなどの軟弱野菜が周年栽培化され、安定した農業経営が図れる。 成果 平成25年度 2件 1,368.0㎡ 681,826円 平成26年度 3件 1,871.5㎡ 935,750円				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他					1,000		
一般財源							
H28予算額					1,000		
H27当初予算額	1,000						
H27現計予算額	1,000						
増減額							
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)			936			宇陀市農業支援基金繰入金 1,000千円	
従事職員数【人工】			0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800				
総事業費:人件費含む(千円)			1,736				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	設置量						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	1,872	単位	㎡	588	単位	㎡	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (5)宇陀市農業支援基金事業
単位当たりコスト(円)			927			1,861	

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ助成事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農地及び作業道や用水路等の農業用施設の機能を適正に発揮し、農業経営の安定向上を図る。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ助成事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	小規模な自然災害などの復旧に要する重機等のリースに要する経費の一部を補助する。				財源の内訳 (単位:千円)		
	施設 重機借上げ最大2日間35,000円以内 (借り上げ料70,000円×50%)×30件=1,050,000円 農地 重機借上げ最大1日間25,000円以内 (借り上げ料50,000円×50%)×16件= 400,000円				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 災害復旧事業に採択されない小規模の災害復旧は自力施工となることから、作業に必要な重機等の経費負担を軽減させ、早期の機能回復に寄与する。				使用料		
	成果 平成25年度 26件 839,125円 平成26年度 42件 1,286,819円				国費		
					県費		
					市債		
					その他	1,450	
					一般財源		
					H28予算額	1,450	
				H27 当初予算額	1,450		
				H27 現計予算額	1,450		
				増減額			
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		1,287	1,450		宇陀市農業支援基金繰入金 1,450千円		
従事職員数【人工】		0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)		2,887	3,050				
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		申請件数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		42	単位	件	46	単位	
単位当たりコスト(円)		68,738		66,304			
		備考					
		<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (5)宇陀市農業支援基金事業					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)				
事業の目的	野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設の設置を行う経費の一部を補助する。			宇陀市一般会計予算			
				区分	No.	区分名	
				款	5	農林水産業費	
				項	1	農業費	
				目	3	農業振興費	
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	有害鳥獣の侵入防止のための柵、ネット、電気柵など、1m当たり300円以内を補助する。 10,000m × 300円 = 3,000,000円			財源の内訳 (単位:千円)			
				分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	平成21年度 53件 13km 平成22年度 58件 17km 平成23年度 80件 23km 平成24年度 38件 10km 平成25年度 51件 12.5km 平成26年度 47件 11.6km			使用料			
				国費			
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	3,000		
				H28予算額	3,000		
				H27当初予算額	3,000		
				H27現計予算額	3,000		
				増減額			
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			2,059	3,000			
従事職員数【人工】			0.30	0.30			
人件費(人工×8,000千円)			2,400	2,400			
総事業費:人件費含む(千円)			4,459	5,400			
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名			件数				
活動指標の算式			—				
活動指標の実績(見込)			47	単位	件	備考	
単位当たりコスト (円)			94,872	単位	件		
			50	単位	件	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (6)有害鳥獣対策の推進	
			108,000				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	機構集積協力金交付事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	中間管理機構に対し農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、担い手への農地集積・集約化を加速させることを目的として、市がそれに協力する者に対して集積協力金を交付する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市機構集積協力金事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	地域集積協力金 $20,000円/0.1ha \times 1ha = 200,000円$ 経営転換協力金 $300,000円/0.5ha以下 \times 3戸 = 900,000円$ 耕作者集積協力金 $20,000円/0.1ha \times 0.5ha = 100,000円$ 計 1,200,000円(県費100%)				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し) 農地中間管理機構という公的な機関を介することで、出し手・受け手が安心して農地の貸し借りが出来る条件整備がされた。そこで農地中間管理機構に農地を貸し出す農家と、機構にまとまった農地を貸し出すことに合意した地域への支援として「機構集積協力金」を交付することで農地の流動化(担い手への農地集積・集約)が一層進むものとする。				分担金		
使用料							
国費							
県費					1,200		
市債							
その他							
一般財源							
H28予算額	1,200						
H27当初予算額	2,000						
H27現計予算額	2,000						
増減額	▲ 800						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			農地集積協力金 1,200千円				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考		
単位当たりコスト (円)							
<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	数量調整円滑化推進事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	米政策改革推進対策を推進するため、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律等に基づき、市内196地区における平成27年度産米の生産調整目標面積を定め、米政策改善推進対策を推進する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	2	数量調整円滑化推進事業費					
根拠条例等	奈良県数量調整円滑化推進事業費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	米政策改革推進対策を推進するため、配分ルールの設定、助言指導、計画書の作成、確認業務など行う。 賃金 368,000円(臨時職員賃金) 需用費 171,000円(消耗品費、燃料代、印刷代) 役務費 30,000円(通信運搬費) 計 569,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		使用料
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	宇陀市の振興作物・販売、水田活用、担い手の育成等の将来方向を明確にし、生産対策及び経営対策を実施することにより水田農業の構造改革を促進する。 平成26年(反収492kg換算) 目標生産量 3635.742t 実績 3582.660t 目標作付面積 738.972ha 実績 728.183ha 平成27年(反収492kg換算) 目標生産量 3622.705t 実績 3450.384t 目標作付面積 740.839ha 実績 705.631ha				国費		
					県費	568	
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H28予算額	569	
					H27 当初予算額	581	
					H27 現計予算額	581	
					増減額	▲ 12	
					事業のコスト		
決算額又は決算見込額(千円)	581	569					
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)	2,981	2,969					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	農家戸数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	3,228	単位	戸	3,228	単位	戸	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算
単位当たりコスト (円)	923		920				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中山間地域直接支払事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	中山間地域等は流域の上流部に位置し、当該地域等の農業・農村が有する水源涵養機能、洪水防止機能等の多面的機能により、下流域の都市住民等の生命・財産・くらしが守られている。しかし、中山間地域等では、高齢化と平地に比べ自然的・経済的・社会的条件が不利な地域があり、担い手の減少、耕作放棄地の増加により、多面的機能が低下し、大きな経済的損失が懸念されている。従って、中山間地域等において適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を補正する支援を行い、多面的機能の確保を特に図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	4	中山間地域直接支払事業費					
根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	・実施期間 平成27年度～平成31年度 ・交付対象集落 32集落 ・交付対象面積 1,966,186 m ² ・事業費 34,616,842 円(32集落交付) ・事務費 317,000 円 内訳 需用費 245,000 円(消耗品費) 役務費 51,000 円(通信運搬費) 使用料 21,000 円(コピー使用料) 事業費合計 34,933,842 円				財源の内訳 (単位:千円)		
	目標 耕作放棄地の発生の防止・多面的機能の確保のため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年以上農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを行っていく。 成果 集落活動による健全な生産基盤の維持が図られ、農地の多面的機能が発揮されている。				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費	25,954	
					市債		
					その他		
					一般財源	8,980	
					H28予算額	34,934	
				H27当初予算額	47,431		
				H27現計予算額	47,431		
				増減額	▲ 12,497		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		43,603	34,934		中山間等直接支払交付金 25,954千円		
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費:人件費含む(千円)		46,003	37,334				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		集落数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		41	単位	集落	32	単位	
単位当たりコスト (円)		1,122,024		1,166,688			
備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業経営体育成支援事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	昨今の日本の農業は農業所得の激減、農業従事者の減少・高齢化の進展、農地面積の減少等を受け厳しい状況におかれている。このような中で、農業生産の持続性を確保し、意欲ある多様な経営体の育成・確保を図っていくことが必要である。このため、それぞれの経営体が直面している課題に応じた、きめ細やかな支援の実施を通じ意欲ある多様な経営体を育成・支援する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	7	経営体育成交付金					
根拠条例等	平成22年6月30日付け宇陀市告示第76号宇陀市経営体育成支援交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	融資主体型補助 1経営体 事業費 7,500,000 円 補助率 事業種目ごと30% 事業内容 A農家 パイプハウス7棟 5,000,000 円 × 30% = 1,500,000 円 農機 2,500,000 円 × 30% = 750,000 円 計 2,250,000 円				財源の内訳 (単位:千円)		
	目標 新規就農者、認定農業者、集落営農等、適切な人・農地プラン作成地区で経営改善を目指す中心経営体等に位置づけられた地域農業を担う者が、農業機械の更新・導入及び、ハウスの整備等で、就農の定着及び農業経営規模拡大により、地域の農業を活性化させる。 成果 平成26年度 2件 事業費15,798,320円(交付金3,969,000円) 平成27年度(暫定) 2件 事業費 5,334,905円(交付金3,565,000円)				分担金 使用料 国費 県費 2,250 市債 その他 一般財源 H28予算額 2,250 H27 当初予算額 5,242 H27 現計予算額 5,242 増減額 ▲ 2,992		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		3,969	3,565		経営体育成支援交付金 2,250千円		
従事職員数【人工】		0.01	0.01				
人件費(人工×8,000千円)		80	80				
総事業費:人件費含む(千円)		4,049	3,645				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		経営体育成支援事業対象者					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		2	単位	人	2	単位	
単位当たりコスト (円)		2,024,500		1,822,500			
備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	多面的機能支払交付金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農地・農業用水等の資源は、農村の過疎化、高齢化の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保全管理が困難となっている。地域主体の保全管理の取組を強化し、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理活動と、その一環として行う農村の環境保全活動に加え、農地周りの農業用排水路、農道、ため池等施設の長寿命化を図るための取組に対して支援する。 ※旧対策：農地・水保全管理支払交付金事業より継続				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	11	多面的機能支払交付金事業					
根拠条例等	多面的機能支払交付金実施要綱 平成26年4月1日付け25農振第2254号						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	・農地維持支払 (継続27組織) 11,098,100円(新規1組織) 393,100円=11,491,200円 ・資源向上支払(共同活動) (継続27組織) 6,610,044円(新規1組織) 309,648円=6,919,692円 ・資源向上支払(施設の長寿命化) (継続14組織) 8,570,520円(新規1組織) 731,000円=9,301,520円 合計 27,712,412 円 ・事務費 202,000 円 内訳 需用費 161,000円(消耗品費) 役務費 41,000円(通信運搬費) 事業費計 27,914,412 円				財源の内訳 (単位:千円)		
	目標 ・農地維持支払及び資源向上支払(共同活動) 地域共同による草刈りや土砂上げ等農地、水路等の基礎的な保全管理及び、花植え等良好な景観形成を保つための活動により農村環境改善が見込まれる。 ・資源向上(施設の長寿命化) 農業用排水路等の補修・更新など施設の長寿命化のための活動により農業基盤が整備される。 成果 農地維持支払及び資源向上(共同活動)活動による農地、水路等の基礎的な保全管理及び農村環境の保全及び、農業用排水路等の補修・更新等施設の長寿命化など、地域ぐるみによる協力体制により、良好な農村の景観形成を築くことができ、また、資源向上(施設の長寿命化)活動により農業施設の基盤整備を行うことができる。				分担金 使用料 国費 県費 20,985 市債 その他 一般財源 6,930 H28予算額 27,915 H27 当初予算額 29,084 H27 現計予算額 29,084 増減額 ▲ 1,169		
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)			
決算額又は決算見込額(千円)			6,335	26,481			
従事職員数【人工】			0.30	0.30			
人件費(人工×8,000千円)			2,400	2,400			
総事業費:人件費含む(千円)			8,735	28,881			
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名			活動組織数				
活動指標の算式			-				
活動指標の実績(見込)			22	単位	活動組織		
単位当たりコスト (円)			397,045	27	単位		
				活動組織			
				1,069,667			
			特定財源の状況 多面的機能支払交付金 20,985千円				
			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	環境保全型農業直接支援対策事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的貢献することが重要となっており、平成23年度より、環境保全の高い営農活動に取り組み、販売を目的として生産を行う農業者に対して直接支払う。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	90	環境保全型農業直接支援対策事業					
根拠条例等	環境保全型農業直接支援対策実施要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	対象者 : エコファーマー認定者・有機農業に取り組む農業者 対象事業 : 化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組と炭素を多く含んだ堆肥による水質保全に資する施用、有機農業等 事業取組計画農地 : A=1,000a×2品目作付加算 交付額 : 1,000a×8,000円/10a×2品目=1,600,000円 (国:4,000円/10a 県:2,000円/10a 市:2,000円/10a) 事務費 : 30,000円 事業費合計 1,630,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	目標 農業生産活動による、環境負荷発生リスクの軽減 成果 平成26年度実績 取組人数 11人 取組面積 948a 平成27年度実績見込み 取組人数 11人 取組面積 948a				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費	1,230	
					市債		
					その他		
					一般財源	400	
					H28予算額	1,630	
					H27当初予算額	990	
				H27現計予算額	990		
				増減額	640		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		406	1,344		環境保全型農業直接支払交付金 1,230千円		
従事職員数【人工】		0.02	0.02				
人件費(人工×8,000千円)		160	160				
総事業費:人件費含む(千円)		566	1,504				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		交付者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		11	単位	人	11	単位	
単位当たりコスト (円)		51,455			136,727		
		備考					
		<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	新規青年就農者確保事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(最長5年間)の所得を確保する給付金を交付する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	91	新規就農者確保事業					
根拠条例等	宇陀市青年就農給付金事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	要件 : 就農時45歳未満で独立・自営就農した者で、就農後の総所得が350万円未満の者 給付額 : 年間1,500,000円/年間、1名 給付期間: 5年間 28年度計画 新規 1名 1,500,000円 給付継続4名 6,000,000円 計 5名 7,500,000円(国庫100%)				財源の内訳 (単位:千円)		
	目標 新規就農者が農地の集積などにより、新たな地域の担い手農家となり得ることから、この制度が続く限り充分活用し、年次的に就農者を増やしていく。 成果 平成24年度 新規6名(給付期間、H24年度~28年度1名) (給付期間、H24年度~26年度5名) 平成25年度 新規1名(給付期間、H25年度~29年度) 平成26年度 新規1名(給付期間、H26年度~30年度) 平成27年度 新規1名(給付期間、H27年度~31年度) 計 9名の新規就農者実績 平成28年度 新規1名予定				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費	7,500	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H28予算額	7,500	
				H27 当初予算額	6,000		
				H27 現計予算額	6,000		
				増減額	1,500		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		14,250	3,000		青年就農給付金 7,500千円		
従事職員数【人工】		0.05	0.05				
人件費(人工×8,000千円)		400	400				
総事業費:人件費含む(千円)		14,650	3,400				
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		新規就農者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		8	単位	人	9	単位	
単位当たりコスト(円)		1,831,250		377,778			
		備考					
		<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	震災対策農業水利施設整備事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	東日本大震災においてため池などの農業水利施設が被災し、人命が失われるなどの被害が発生したため、早急に施設の現状を確認し災害予防に努める必要がある。このため、農業用水利施設であるため池の一斉点検により、施設整備に先行して短期間・低コストで実現可能な減災対策を緊急的に実施し、施設の安全性とともに地域の安全を確保する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	97	震災対策農業水利施設整備事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	平成25年度の点検実施個所の再詳細点検 市内 8箇所 × 300,000円 = 2,400,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	大規模ため池規模の耐震診断 宝池 1箇所 × 3,000,000円				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 ため池施設の現状を把握し、施設の安全性とともに地域の安全度を高める。				使用料		
	成果 平成25年度 2ha以上のため池 84箇所点検 平成26年度 2ha未満1,000㎡以上のため池 33箇所点検 平成27年度 2ha未満1,000㎡未満のため池 70箇所点検				国費		
					県費	5,400	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H28予算額	5,400	
					H27 当初予算額	17,010	
					H27 現計予算額	17,010	
					増減額	▲ 11,610	
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	2,138	17,010		農村地域防災減災事業補助金 5,400千円			
従事職員数【人工】	0.05	0.05					
人件費(人工×8,000千円)	400	400					
総事業費:人件費含む(千円)	2,538	17,410					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	点検箇所数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	33	単位	箇所	70	単位	箇所	
単位当たりコスト(円)	76,909		248,714				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	水田活用経営所得安定対策交付金事業(振興作物助成)				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	水田の生産調整の推進と併せ、大豆・小豆の土地利用型作物の生産奨励を行い、大豆・小豆の産地化、ブランド化を押し進める。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	98	経営所得安定対策 直接支払推進事業					
根拠条例等	宇陀市水田活用振興作物助成交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	水田活用経営所得安定対策交付金 1,500,000円 対象作物 大豆・小豆 10a当たり5,000円の奨励 300a × 5,000円 = 1,500,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 大豆小豆の産地化とブランド化を進める。 成果 平成27年度事業対象生産面積(暫定) 黒大豆 1556a 枝豆 187a 小豆 511a 計 2,254a 平成26年度事業対象生産面積 1,316a				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,500	
					H28予算額	1,500	
					H27 当初予算額	1,500	
H27 現計予算額	1,500						
増減額							
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	658		1,125				
従事職員数【人工】	0.10		0.10				
人件費(人工×8,000千円)	800		800				
総事業費:人件費含む(千円)	1,458		1,925				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	事業対象作付け面積						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	1,316	単位	a	2,254	単位	a	
単位当たりコスト (円)	1,108		854		備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (4)水田活用経営所得安定対策交付金		

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業(推進事業費)					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的	経営所得安定対策において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務を行う。また、集落営農の法人化に必要な事務費助成、集落営農の経理事務担当者を育成する活動等を支援する。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	3	農業振興費	
細目	98	経営所得安定対策直接支払推進事業						
根拠条例等	奈良県経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H28年度事業の概要	経営所得安定対策の実施に必要となる推進活動の内、市が行う現場における推進活動や要件確認等に必要となる経費を国から助成。 賃金 1,837,000円(臨時雇用賃金) 報償費 1,061,000円(現地確認手当) 需用費 1,000,000円(消耗品費、燃料費等) 役務費 300,000円(郵送料) 使用料等 200,000円(コピー・会場使用料) 計 4,398,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 経営所得安定対策の推進活動を行い、制度加入者の申請書類等の配布・回収の申請手続きを支援し、近畿農政局奈良支局等へ情報を提供する。 成果 H26年度直接支払交付金実績(国から直接取組農家へ交付) 米の直接支払い交付金 17,625,000円 水田活用直接支払い交付金(転作) 10,439,000円 再生利用交付金 216,000円 合計 28,280,000円				使用料			
					国費			
					県費	4,397		
					市債			
					その他			
					一般財源	1		
					H28予算額	4,398		
					H27当初予算額	5,352		
H27現計予算額	5,352							
増減額	▲ 954							
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	2,828	2,876		経営所得安定対策直接支払推進事業交付金 4,397千円				
従事職員数【人工】	0.20	0.20						
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600						
総事業費:人件費含む(千円)	4,428	4,476						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名	戸数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績(見込)	2,407	単位	戸	2,407	単位	戸		
単位当たりコスト(円)	1,840		1,860					
備考	<予算案のポイント>							
	【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市地籍調査事業					
所管課	145	地籍調査課	(建設部)					
事業の目的	宇陀市の民有地及び公有地の保全及びその利用の高度化に資すると共に、併せて地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	5	地籍調査費	
細目	1	本庁地籍調査費						
根拠条例等	国土調査法第6条の4(事業計画の実施等)							
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築							
H28年度事業の概要	平成28年度地籍調査事業実施概要 ・榛原下井足第1期地区(面積40万㎡、筆数531筆) 地籍図原図作成・面積測定・一筆地調査成果の閲覧 ・榛原下井足第2期地区(面積38万、筆数384筆) 地籍基準点測量・現地一筆地調査・一筆地測量 ・大宇陀岩清水第1期地区(面積43万㎡、筆数552筆) 地籍図原図作成・面積測定・一筆地調査成果の閲覧 ・榛原宮本の一部地区(面積2万㎡、筆数50筆) 地籍基準点測量・現地一筆地調査・一筆地測量				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	国土調査法に定める地籍調査事業に昭和47年度から着手し、69地区、5,362万㎡、進捗率は約23%。 調査完了地区では、この事業により、土地の保全がなされ、下記の効果が得られている。 ①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の軽減、期間の短縮 ④公共事業の効率化 ⑤公共物の管理の適正化 ⑥土地の有効活用の促進				分担金		
使用料								
国費								
県費		16,659						
市債								
その他								
一般財源		5,553						
H28予算額	22,212							
H27当初予算額	30,100							
H27現計予算額	30,100							
増減額	▲ 7,888							
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	23,100	30,100	地籍調査事業費負担金 16,659千円					
従事職員数【人工】	1.50	1.50						
人件費(人工×8,000千円)	12,000	12,000						
総事業費:人件費含む(千円)	35,100	42,100						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名	面積							
活動指標の算式	総事業費/実施面積							
活動指標の実績(見込)	72	単位	万㎡	83	単位	万㎡		
単位当たりコスト(円)	487,500		507,229					
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (4)地籍調査の推進							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農林道台帳整備委託事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農道及び林道台帳を整備し、建設課所有の市道路台帳管理システム「PASCAL」及び道路台帳と同様のデータベースにする。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費					
根拠条例等	道路法第28条						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	農道及び林道土地等調査事業 3,000,000円 ・保有資料の整理・概略基本図作成 ・法務局調査(公図・地積測量図転写・連続図作成・登記調査等) ・現況素図作成(保有図重ね図・建設課道路現況図・税務課(参考)地 番図・法務局調査結果割込図等) ・32路線調査費30,296千円を年次的に実施する。 農道登記調査費 2,500,000円 ・未登記農道用地の年次的な調査登記業務				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 農道及び林道を建設課所有の市道路台帳管理システムと同じ基本データにする事で、適正な維持管理を行うことができ、安全性、利便性の向上につながる。				分担金	
成果 平成26年度 2路線 2,999,160円 平成27年度 2路線 2,999,160円(暫定)				使用料			
				国費			
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	5,500		
				H28予算額	5,500		
				H27 当初予算額	3,000		
				H27 現計予算額	3,000		
				増減額	2,500		
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	3,000	3,000					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費:人件費含む(千円)	3,800	3,800					
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	調査路線数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	2	単位	路線	2	単位	路線	
単位当たりコスト(円)	1,900,000		1,900,000		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県営一般農道整備事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道、基幹農道以外の農道網の基幹となる農道を県営事業で実施する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費					
根拠条例等	土地改良法第91条第6項						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	項目 事業予定額 工事請負費 50,000,000円 委託費 10,000,000円 補償費 1,000,000円 小計 61,000,000円 工事雑費 1,500,000円 小計 62,500,000円 事務費 3,100,000円 合計 65,600,000円				国費 50% 県費 35% 市負担金15% 9,840,000円		
	農業経営の合理化、農業生産力の向上や生活環境の利便性向上 中山間地域における農林業の生産力向上、利便性の向上を図り、地域住民生活の安定を図る。				財源の内訳 (単位:千円) 分担金 使用料 国費 県費 市債 9,800 その他 一般財源 40 H28予算額 9,840 H27当初予算額 10,631 H27現計予算額 10,631 増減額 ▲ 791		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		3,741	10,631		過疎対策事業債 9,800千円		
従事職員数【人工】		0.02	0.10				
人件費(人工×8,000千円)		160	800				
総事業費:人件費含む(千円)		3,901	11,431				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		受益面積					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		203	単位	ha	203	単位	ha
単位当たりコスト(円)		19,217		56,310		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	うだ産フェスタ事業				
所管課	141	産業企画課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市における特産品や自慢の産品を一同に集め、広く市内外に推奨することにより、地域産業の活性化を目指すとともに、地産地消を促進させ、生産者の生産意欲の向上と地域産業の担い手づくりを図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	8	産業企画費
細目	1	産業企画費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化						
H28年度事業の概要	【予算概要】 うだ産フェスタ実行委員会補助金 3,000,000円 開催日時:平成28年10月予定(2日間) 午前10時から午後4時 場 所:宇陀市総合体育館 周辺 開催内容:協賛団体の展示・特産品名産品等の販売 農産物の販売等				財源の内訳 (単位:千円)		
	宇陀市、奈良県、宇陀商工会、森林組合、JA奈良県、宇陀農業共済組合、宇陀市観光協会が実行委員会を立ち上げ、市の特産品や新鮮野菜等の販売、PRを行うとともに、宇陀市内で営業活動を行っている企業等のPR活動を市内外に行うことにより、地域産業の活性化、地産地消の促進、生産意欲の向上、新鮮野菜等のブランド化を図る。 平成26年度実績 ・展示即売PR団体・・・31団体 ・ご当地グルメブース・・・13団体 ・フリーマーケット・・・19団体 ・来場者数・・・約4,000名				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,000	
H28予算額	3,000						
H27 当初予算額							
H27 現計予算額							
増減額	3,000						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	250						
従事職員数【人工】	3.00						
人件費(人工×8,000千円)	24,000						
総事業費:人件費含む(千円)	24,250						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	来場者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	4,000	単位	人	単位	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2)うだ産フェスタ開催		
単位当たりコスト (円)	6,063						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	南部東部物産販売促進事業				
所管課	141	産業企画課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	県では、県南部・東部地域の中小企業・小規模事業者の販路開拓を支援し、同地域の振興を図るため、地域の商工会との連携のもとで市が行う物産展の開催及び出展経費並びに物産品の買取経費等について、補助を行う。 それに併せ、県の共同物産展(東京・名古屋)に参加し、宇陀市及び県南部東部地域の活性化及び、市の特産品・名産品等のPR並びに販路拡大を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	8	産業企画費
細目	1	産業企画費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化						
H28年度事業の概要	【予算概要】 共同出店:東京・名古屋 ○東京・名古屋 旅費・・・245,000円 需用費・・・80,000円 役務費・・・40,000円 使用料・・・187,000円 原材料費・・・350,000円 合計・・・902,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し) 出展実績 ○「地域のちからコレクション」 日時:平成27年10月28日～30日 場所:東京(新宿駅) 来場者:17,000人/日 ○旅まつり名古屋2016 日時:平成28年3月19日～20日(予定) 場所:名古屋大通公園				分担金 使用料 国費 県費 541 市債 その他 350 一般財源 11 H28予算額 902 H27当初予算額 H27現計予算額 1,335 増減額 902		
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		1,335		県南部・東部振興物産販売促進支援事業補助金(3/5) 541千円 雑入 350千円			
従事職員数【人工】		0.50					
人件費(人工×8,000千円)		4,000					
総事業費:人件費含む(千円)		5,335					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	売上						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)		単位	350,000	単位	円	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (10)南部東部物産販売促進事業	
単位当たりコスト (円)					15		

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除集落取組事業補助金					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的	有害獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合に対し補助金の交付を行う。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H28年度事業の概要	事業主体:自治会及び農家組合 補助要件:新たに狩猟者免許を受けた者2名を含む3名以上でわなを管理する。 補助金額:1地区40,000円以内 平成28年度計画: 新規 5地区 × 40,000円 = 200,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
	目標 集落・地域単位での取り組みにより捕獲効率の向上を図る。 成果 平成22年度 5地区 平成23年度 8地区(新規5地区、継続3地区) 平成24年度 6地区(新規3地区、継続3地区) 平成25年度 5地区(新規2地区、継続3地区) 平成26年度 6地区(新規5地区、継続1地区)				分担金			
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
一般財源					200			
H28予算額	200							
H27当初予算額	260							
H27現計予算額	260							
増減額	▲ 60							
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	220	260						
従事職員数【人工】	0.20	0.20						
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600						
総事業費:人件費含む(千円)	1,820	1,860						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名	地区数		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (6)有害鳥獣対策の推進				
活動指標の算式	—							
活動指標の実績(見込)	6	単位 地区				12	単位 地区	
単位当たりコスト (円)	303,333					155,000		

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止を目的として、平成18年7月に宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を立ち上げ、協議会が事業主体となり鳥獣害防止対策事業を実施する。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H28年度事業の概要	ソフト事業(補助率:1/2 事業費725万) ニホンザル群の個体数及び群構成の調査 モンキードッグ育成 追払いグッズの配布 獣肉利用の推進 不要果樹伐採等				財源の内訳 (単位:千円)			
	ハード事業(補助率:定額 事業費667万) 防除柵設置				分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	H26実績 鳥獣被害防止施設設置 52地域 145km ニホンザル生態調査 ニホンザル位置情報発信 不要果樹伐採、緩衝帯整備 研修会開催				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,100		
					H28予算額	1,100		
					H27 当初予算額	1,100		
					H27 現計予算額	1,100		
					増減額			
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)			1,100	1,100				
従事職員数【人工】			0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)			1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)			2,700	2,700				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名			防護柵設置距離					
活動指標の算式			—					
活動指標の実績(見込)			145	単位	km			
単位当たりコスト (円)			18,621	18,621				
特定財源の状況								
備考			<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取り組み(地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業 例:間伐・作業道開設)を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	森林所有者等が実施した森林整備(間伐、作業道開設)に対し、予算の範囲内で事業に係る経費の1/2を補助する。 市では市内森林組合が森林所有者の代理となって交付申請を行っている。 【H28年事業】 事業概要 間伐 A=200ha 作業道 L=5000m 総事業費 70,000千円 国庫補助 35,000千円 実施主体負担 35,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 特定間伐促進計画に基づき、第二期実施において県内民有林で38,626ha、宇陀市で2,697haの間伐の実施を目標とする。 成果 第一期実績 (平成20年度から24年度) 間伐83.99ha 作業道4,779m 第二期実績 (平成25年度から29年度) 平成25年度 間伐 88.27ha 作業道3,352m 平成26年度 間伐102.92ha 作業道6,575m 平成27年度 間伐160ha 作業道4,847m(見込み)				使用料		
					国費	35,000	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H28予算額	35,001	
					H27当初予算額	27,051	
H27現計予算額	31,001						
増減額	7,950						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	25,101	31,001	美しい森林づくり基盤整備交付金 35,000千円				
従事職員数【人工】	0.04	0.04					
人件費(人工×8,000千円)	320	320					
総事業費:人件費含む(千円)	25,421	31,321					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	間伐面積						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	102	単位	ha	160	単位	ha	
単位当たりコスト (円)	249,225		195,756				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市里山の広葉樹林再生事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	拡大造林政策により里山にまで植林されたスギ・ヒノキが利用されずに荒廃し、人家周辺の里山林の整備が放置されている。国、県補助の対象とならない、里山の人工林を整備する市民活動について補助を行い樹種転換を推進する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市里山の広葉樹林再生事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H28年度事業の概要	人家から50m程度までのスギ・ヒノキを中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木を植栽し、その経費を補助する。 新規 1事業地当たり 500,000円×2地区=1,000,000円 継続 下刈り 21,000円×3地区= 63,000円 合計 1,063,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	土砂崩壊災害の低減、環境保全林・景観保全林や水源涵養林としての人家周辺の里山林が本来持っている公益的機能回復やスギ・ヒノキ花粉飛散量の低減をも目指す。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,063	
					H28予算額	1,063	
					H27当初予算額	1,063	
H27現計予算額	1,063						
増減額							
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	1,500	1,063					
従事職員数【人工】	0.01	0.01					
人件費(人工×8,000千円)	80	80					
総事業費:人件費含む(千円)	1,580	1,143					
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	取組地区		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (9)里山の広葉樹林再生事業補助金			
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	3	単位 地区				2	単位 地区
単位当たりコスト(円)	526,667					571,500	

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林整備地域活動支援交付金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	適時適切な森林施策が十分に行われない森林の発生を防止し、森林の有する多面的機能が確保されるよう、森林経営計画等の作成を通じた森林整備の促進を図るため、森林施策の集約化及び森林施策の推進に必要な地域活動等を行う森林所有者等に対して支援を行う事業である。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	4	森林整備地域活動支援事業費					
根拠条例等	宇陀市森林整備地域活動支援交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	森林経営計画策定の為、土地所有者と経営委託を交わした森林の境界の確認に要する作業に対する交付金 実施場所 室生奥山組合所有林 実施量 26ha 事業費 1,404,000円 (26ha×単価54,000円) 国費(50%) 702,000円 県費(25%) 351,000円 市費(25%) 351,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		使用料
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 県内で森林経営計画を立てている業者が室生奥山組合と協定を結び間伐を行うため「森林整備地域活動支援交付金」森林経営計画作成促進支援メニューを活用し境界の確認を行う。 成果 平成27年度 実施場所 室生奥山組合所有林 実施量 26ha				国費		
					県費	1,053	
					市債		
					その他		
					一般財源	351	
					H28予算額	1,404	
					H27当初予算額		
					H27現計予算額	1,404	
増減額	1,404						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		1,404	森林整備地域活動支援事業補助金 1,053千円				
従事職員数【人工】		0.02					
人件費(人工×8,000千円)		160					
総事業費:人件費含む(千円)		1,564					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	境界確定林						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)		単位	26	単位	ha	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	
単位当たりコスト (円)			60,154				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境税施業放置林整備事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い施業放置林について森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。 森林所有者の事業費負担なし(100%県費)				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	11	森林環境税施業放置林整備事業費					
根拠条例等	奈良県森林環境税条例						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	事業内容 10年以上放置された人工林を対象に40%以上の間伐 事業量 A=100ha 施業放置林整備事業委託料(100ha) 40,100,000円 森林マネージャー賃金(4名×31日) 1,028,000円 事業事務補助者賃金(1名×8ヵ月) 800,000円 旅費(普通旅費) 20,000円 需用費(消耗品、燃料費等) 453,000円 役務費(通信運搬費) 100,000円 使用料及び賃借料(コピー使用料) 150,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 平成18年度～26年度の9ヶ年で1150.94haの間伐を実施 成果 間伐実施面積 H18年度 A=93.40ha H19年度 A=138.76ha H20年度 A=148.93ha H21年度 A=101.06ha H22年度 A=90.53ha H23年度 A=108.02ha H24年度 A=157.61ha H25年度 A=185.90ha H26年度 A=126.73ha H27年度 A= 83.00ha(見込み)				使用料		
					国費		
					県費	42,551	
					市債		
					その他		
					一般財源	100	
					H28予算額	42,651	
					H27当初予算額	78,773	
				H27現計予算額	78,773		
				増減額	▲ 36,122		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		46,129	34,420				
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費:人件費含む(千円)		48,529	36,820				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		間伐実施面積					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		126.7	単位	ha	83	備考	
単位当たりコスト (円)		382,932	単位	ha	443,614		
						<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県産材生産促進事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	森林の保全や水源のかん養など森林の有する公的機能の持続的な発揮を目的とした間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材(間伐材)の搬出及び利用促進を図るため、県が定める宇陀市内の森林組合を含む認定事業体に対し、県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	86	県産材生産促進事業					
根拠条例等	宇陀市県産材促進事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	搬出コストの不採算により未利用となっている県産材の出材事業を行う認定事業体に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を予算の範囲内で補助金を交付する。 1m3あたり 県費 2,000円 市費 1,500円 計3,500円の補助 事業量 搬出計画量 2,000m3 事業費 7,000,000円(県4,000,000円、市3,000,000円)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		使用料
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	目標 奈良県林業・木材産業振興プランにより、県内生産量148千m ³ を平成32年には250m ³ に拡大する。 成果 平成22年度 搬出量 980m ³ 平成23年度 搬出量 2,351m ³ 平成24年度 搬出量 2,351m ³ 平成25年度 搬出量 1,700m ³ 平成26年度 搬出量 1,560m ³ 平成27年度 搬出量 1,870m ³ (見込み)				国費		
					県費	4,000	
					市債		
					その他		
					一般財源	3,000	
					H28予算額	7,000	
					H27当初予算額	6,545	
					H27現計予算額	6,545	
					増減額	455	
					事業のコスト		
決算額又は決算見込額(千円)			5,460	5,460			
従事職員数【人工】			0.40	0.40			
人件費(人工×8,000千円)			3,200	3,200			
総事業費:人件費含む(千円)			8,660	8,660			
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	搬出量						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	1,560	単位	m ³	1,870	単位	m ³	
単位当たりコスト (円)			5,551	4,631			
備考	特定財源の状況						
	県産材生産促進事業補助金 4,000千円						
備考	<予算案のポイント>						
	【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域で育む里山づくり事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	NPOやボランティア団体の協力のもと、市街地近郊や集落周辺の荒廃した里山林を整備し、森林環境教育等に利活用することにより、里山の機能回復を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	88	地域で育む里山づくり事業費					
根拠条例等	宇陀市地域で育む里山づくり事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H28年度事業の概要	取り組み団体 向瀬さとやま遊友クラブ 上出しきをつくり隊 事業内容 竹林整備 @173,400円×0.40ha= 69,360円 器材配備 @56,000円×2団体=112,000円 利活用補助 @200,000円×1団体=200,000円 事務費(消耗品費) 30,000円 合計 411,360円 補助率 県費100%				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し) 平成19年度 0.30ha 平成20年度 0.36ha 平成21年度 0.13ha 平成23年度 1.06ha 平成24年度 0.40ha 平成25年度 0.43ha 平成26年度 0.53ha 平成27年度 0.43ha(見込み)				分担金 使用料 国費 県費 412 市債 その他 一般財源 H28予算額 412 H27当初予算額 417 H27現計予算額 417 増減額 ▲ 5		
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	324	416		地域で育む里山づくり事業委託金 412千円			
従事職員数【人工】	0.01	0.01					
人件費(人工×8,000千円)	80	80					
総事業費:人件費含む(千円)	404	496					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	整備面積						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	0.53	単位	ha	0.43	単位	ha	
単位当たりコスト(円)	762,264		1,153,488				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算						